

日本短角種産肉能力（間接法）検定成績

（畜試 肉牛部）

1. 背景とねらい

産肉能力直接検定成績が優れた種雄牛について間接検定を実施した。その検定成績が得られたので、種雄牛交配計画のための参考に供する。

2. 技術の内容

平成元年度日本短角種間接検定成績

検定牛	高 雲 (N= 7)	琴 房 (N= 8)	幸 花 (N= 8)	松 月 山 (N= 7)	大 高 (N= 8)	
生 年 月 日	60. 2. 3	61. 3. 2	61. 3. 3	61. 3.10	61. 3.20	
登 録 番 号	本 830	本 901	本 903	本 905	本 900	
血 統	父	藤 波 (予岩383)	琴類1019 (本429)	大 幸 (本582)	波 花 (本415)	大 幸 (本582)
	母の父	岩 雲 (本153)	藤 波 (予岩383)	富 川 (予岩419)	川 久 (本104)	福 箱72 (本108)
直接検定・DG	1.57	1.37	1.54	1.41	1.60	
体 重	開始時	252.4± 15.8	224.2± 31.9	259.2± 18.9	251.1± 16.1	242.2± 17.0
	終了時	586.1± 59.8	540.2± 27.2	588.9± 38.1	565.6± 25.4	559.4± 24.0
1日当り増体量	1.08±0.16	1.03±0.07	1.07±0.08	1.02±0.06	1.03±0.07	
1KG増体TDN	6.26	6.33	6.30	6.34	6.31	
枝 肉 歩 留	61.0±0.7	60.2±1.4	61.7±0.7	62.0±0.6	60.3±1.3	
ロース芯断面積	44.7±6.3	45.5±3.0	44.0±3.0	45.9±5.4	41.9±3.1	
背部皮下脂肪厚	1.9±0.5	1.6±0.5	1.9±0.3	2.0±0.4	2.0±0.4	
脂肪交雑・(BMS)	0.57±0.17	0.50±0.25	0.58±0.35	0.57±0.25	0.59±0.16	
枝 肉 格 付	A2-7	A2-7 A3-1	A2-5 A3-3	A2-5 A3-2	A2-6 A3-2	

終了した5頭は1日当たり増体量が1.02~1.08kg、1kg増体に要したTDNが6.26~6.34kgと優れ、増体能力が高い。

枝肉ではロース芯面積が大きく(42~46cm²)、皮下脂肪(1.5~2.1cm)、筋間脂肪(5.0~5.9cm)とも薄い傾向にあり、歩留基準値73%以上で等級は全てA格付であった。

特に琴房は74.2%と優れた。

しかし、肉質のBMSは0.50~0.59にとどまり、しまりも2~3とやや劣り、枝肉格付はA2;79%、A3;21%であった。

3. 指導上の留意事項

1) 間接検定法

検定期間(308日)

高 雲 ; 元年9月28日~2年8月2日

琴 房・幸 花 ; 元年11月2日~2年9月6日

松月山・大 高 ; 元年11月9日~2年9月13日

飼 料

濃厚飼料 間接検定飼料(TDN73.0%,DCP10.0%)体重比1.8%

粗飼料 乾草(TDN44.2%,DCP6.8%)及びデントコーンサイレージ
(TDN20.9%,DCP1.6%)を不断給与

2) 交配種雄牛を選定する際は、近親交配をさけ産子の近交係数が12%を超えないようにする必要がある。

4. 関連試験課題名

日本短角種産肉能力検定(間接法)